

## 平成 28 年度 長野県立中学校入学者選抜適性検査問題の評価について

教学指導課

1 検査実施日 平成 27 年 12 月 5 日 (土)

2 受検者数 ( ) 内は倍率

	男子	女子	計
屋代高等学校附属中学校	203 名 (5.08 倍)	181 名 (4.53 倍)	384 名 (4.80 倍)
諏訪清陵高等学校附属中学校	130 名 (3.25 倍)	125 名 (3.13 倍)	255 名 (3.19 倍)
計	333 名	306 名	639 名

3 合格者数 屋代高等学校附属中学校、諏訪清陵高等学校附属中学校とも、  
男子 40 名 女子 40 名 計 80 名

4 適性検査別平均点

	適性検査 I	適性検査 II
平均点	51.9 点	48.4 点
(昨年度)	(41.2 点)	(35.1 点)

※各小問別正答率については次頁のとおり

5 総括

本検査問題により、県立中学校入学後に求められる思考力、判断力、表現力や、問題解決能力等、受検者の適性を総合的にみることができたと考える。

- 県内小中学校（小 30 校、中 10 校）を抽出し、難易度、問題量、出題形式、解答形式等についてアンケート調査を実施した。
  - ・ 難易度については、「適当である」という回答を 92%（昨年度 75%）の小中学校から得た。
  - ・ 出題形式については 91%（昨年度 90%）、解答形式については 95%（昨年度 88%）の小中学校から「適当である」という回答を得た。
  - ・ 問題量について「多い」という指摘も 43%（昨年度 49%）あったが、昨年度より 6%改善しており、平均点からも、県立中学校入学後に求められる力を測るには適切な問題量であったと考える。
- 県立中学校からは、「日常事象の様々な場面から問題作りがされており、思考力、判断力、表現力をみるためによく練られた問題であった」等の意見をいただいた。
- △ アンケートから、レイアウトに関して、問題がページをまたがないようさらに工夫の方がよいという意見や、表や図をもう少し大きくしてはどうかという意見をいただいたので、今後の検討課題としたい。
- △ 県立中学校からの要望として「解答用紙の向きが適性検査 I は横長、適性検査 II は縦長と違いがあるが、構造的な採点ミスを防ぐため、両方とも縦長にしてほしい」という要望をいただいた。今後の検討課題としたい。

適性検査Ⅰ 小問別正答率

(%)

【問1】	(1)			(2)		(3)
	A	B	C	DEF	G	
	31.0	53.2	38.0	75.0	79.4	51.5

【問2】	(1)					(2)		(3)		(4)	
	①		②		③	①	②	①	②	H	I
	A	B	C	D	E	F	G				
	82.5	98.0	80.0	53.0	57.2	47.5	75.3	59.5	38.6	66.5	51.8

【問3】	(1)	(2)				(3)				(4)		(5)
	A	B	C	DE	F	G	H	I	J	①	②	N
										KL		
	70.5	94.3	77.5	88.5	51.5	74.5	79.5	55.3	56.5	52.0	34.8	50.7

【問4】	(1)	(2)	(3)
	68.5	37.2	10.4

適性検査Ⅱ 小問別正答率

(%)

【問1】	(1)		(2)		(3)			
	①	②	①	②	①		②	
					あ	いう	え	お
	69.5	81.5	30.0	30.5	43.5	32.5	70.0	40.5

【問2】	(1)				(2)		(3)
	①	②	③	④	いう	えお	
	90.5	49.5	47.5	77.0	73.5	72.5	58.0

【問3】	(1)	(2)		(3)				
		①	②	①	②			
					あ	い	う	え
	42.0	30.0	15.0	78.5	71.5	94.5	88.5	20.0

【問4】	(1)						(2)				
	①	②			③			①	②		
		あ	い	う	えお	かき	く		6年男子	XY	
		49.5	83.5	64.5	65.5	17.0	16.0		8.5	15.5	34.0